

ツーリズムEXPOジャパン2023 に出展しました（10月26日～29日）

世界最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン2023」が4年ぶりに大阪で開催され、東観推では「見つけた！ここだけの旅、ここだけがある東北」をテーマにJR東日本と合同ブースを出展しました。東北を代表する温泉地の紹介や、東北の四季を「桜」「祭」「紅葉」「雪景色」をテーマとしてパネルにし、7県それぞれのコンテンツの紹介など、東北が長期滞在して楽しめるエリアであることをPRしました。また、東北ならではのプレミアムな体験コンテンツや、アドベンチャーツーリズムとして、注目を浴びる「みちのく潮風トレイル」の紹介パネルも設置し、東北の魅力を来場者に訴求しました。さらに「TOHOKU Fan Club」会員募集コーナーでは、新規会員登録いただいた方にノベルティをプレゼントし、多くの方にご入会いただくなど大変好評でした。他にも「JR復興ツーリズム&東北まなび旅」として、太平洋側の震災伝承施設とその他の教育旅行施設の紹介や、東北各県の日本酒の試飲コーナー、各県によるステージイベントが実施され、ブースは多くの方で賑わいました。



【ブース全景】



【みちのく潮風トレイルの紹介】



【各県によるステージイベント】



【要人の来訪】

VISIT JAPAN トラベル&MICE マート2023（10月26日～28日）

インテックス大阪で開催されたVISIT JAPAN トラベル&MICE マート2023に参加し、アジア市場を中心に計30社の海外旅行会社と商談をしました。昨年は一部オンラインでの商談もありましたが、今年は全ての旅行会社とリアルでの商談となり、様々な問い合わせや質問に東北全域の情報と地図を掲載した「ムービング東北」などのパンフレットやデジタル資料を活用しながら、その場で対応することができました。また、パンフレットや資料は同商談会に参加した東北の事業者にも活用していただくことで連携を図りました。

商談会では、今後の商品造成に向けた東北のスノーやスキー場、桜の見どころなど定番のコンテンツに加え、白石城甲冑体験や蔵王ヘリコプタークルージングなどプレミアムなコンテンツをプロモーションしたところ、非常に好評でした。個人旅行を取り扱う旅行会社には、東北の四季に合わせ観光地を効率よく周遊できるモデルコースや魅力ある複数のコンテンツを繋ぐドライブルートを提案しました。特にマレーシア、インドネシア、中国（広州）の旅行会社では冬から春に向けた今後の商品造成の素材となるコンテンツを熱心に確認していました。また、欧米では「みちのく潮風トレイル」への関心が高く、一部の旅行会社では北部（宮古～青森）はすでに商品化しているため、今後、南部（松島～気仙沼）の商品造成に向けた情報収集をしており、東北アドベンチャートラベルに対する期待の高まりを感じました。

この商談会で構築した関係性を維持し、各旅行会社に対し継続的に商品造成の働きかけをするとともに、新たに得られた市場毎のニーズや情報を事業内容にも反映しながら、一層取組みを推進してまいります。



【会場の様子】



【商談会の様子】



韓国旅行会社招請（10月20日～24日）

韓国現地の旅行会社2社2名を招請し、「アウトドア・アクティビティ+食事・文化体験」をテーマに、秋田県・宮城県・山形県を視察しました。視察では特に宮城オルレ（大崎・鳴子温泉コース）が好評で、初心者でも気軽に楽しめるコースでありながら、鳴子峡の雄大な景色が見られる点が高く評価され、トレッキングを愛好する韓国人観光客にも訴求できる実感が得られました。また、質の高い温泉と食事を堪能できる鳴子温泉郷と組み合わせ、東北ならではの自然と文化をテーマとした旅行商品の造成を検討したいとのコメントを頂戴しました。東北においては、2023冬ダイヤ期間から仙台～ソウル便が週3往復から週4往復になる他、青森や新潟でも国際定期便の再開に向けた動きが進んでおり、今後、東北～韓国間の往来の活発化が見込まれます。

引き続き、情報発信や旅行商品造成に向けた働きかけを行うなど、韓国に向けたプロモーションを一層推進してまいります。



【宮城オルレの視察】

タイ旅行会社招請（10月20日～24日）

東北の秋はタイ人観光客からの人気が高いことから、東北の紅葉をテーマに、タイ現地から旅行会社4社を招請し、タイで需要の高いルートの一つである栃木・南東北での視察を実施しました。視察では、山形蔵王で美しい状態の紅葉を見た他、みちのく杜の湖畔公園ではコキアが見ごろであるなど、東北の秋の魅力を伝えることができました。タイでは特に写真映えるスポットの需要が高く、そのような場所があれば東北でも積極的に発信してほしい旨のアドバイスもありました。また、今回は高所得層の顧客を持つ旅行会社が多く、各地で宿泊施設や飲食店の視察も行い、温泉付きの部屋や貸切の可否などについても確認しました。

今回招請を行った4社に対しては、今後も継続的に情報発信を行うなど、実際の旅行商品の造成に向けて引き続き連携を行ってまいります。



【みちのく杜の湖畔公園での視察】

欧米メディア招請（10月24日～30日）

現地（アメリカ）のメディア1社を招請し、訪日関心層向け「新たなデスティネーション」をテーマに、青森県・秋田県・山形県・宮城県・仙台市・福島県を視察しました。特に好評だったコンテンツは五風なまはげ太鼓の女性演者の活躍と、雲昌寺副住職との対話、お鷹ぼっぽ職人との絵付け体験でした。この3つに共通することは誇りを持って自身の仕事に向き合い、大事に継承され、受け継がれてきた伝統文化を守っていこうとする姿勢が取材を通して伝わったことです。取材の感想として「東北は、山・海・川・滝などの奇麗な自然が豊かで驚くことが多く、人々も親切で食べ物もとてもおいしかった」、「東京はニューヨークと変わらないことも多い。東北は全く違う美しい景色や文化がある。より異文化や日本を感じるにはとても良い旅先である」等、様々なご意見を頂きました。今後も継続的に東北の魅力度・認知度向上のため情報発信をしてまいります。



【『笹野一刀彫』
お鷹ぼっぽの絵付け体験】

東南アジアインフルエンサー招請（10月30日～11月3日）

マレーシア・インドネシア市場におけるムスリム系の方に発信力を持つインフルエンサーをマレーシアから1名、インドネシアから2名を招請し、東北の紅葉やムスリムフレンドリーな飲食店をテーマに、岩手県・宮城県・福島県を視察しました。今回、全員が紅葉の時期の日本を取材するのは初めてとのことで、モチベーション高く取材いただきました。特に猊鼻溪や鳴子峡では紅葉が見頃を迎えており、美しい景色に感動していました。また、大内宿では着物の着付けをして散策したところ、まさに日本ならではの体験と紅葉を同時に楽しめる点が非常に好評でした。食事では、ハラル認証を受けた牛肉の焼き肉が楽しめる焼き肉屋「と文字」が好評で、ムスリムの方にも強くお勧めできるとコメントを頂戴しました。

2023年におけるマレーシア・インドネシアから東北への旅行者は、2019年比で大きな伸びが確認できています。現地での東北の知名度向上のため、今後も継続的に情報発信を行ってまいります。



【大内宿での視察】

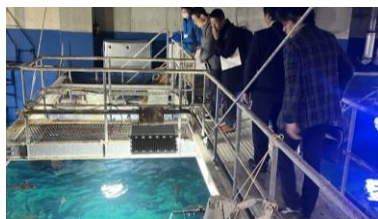
東北教育旅行現地研修会を開催しました（10月21日～22日）

日本修学旅行協会の監修・協力のもと、東北地区への教育旅行誘致を目的とした学校関係者向けの東北教育旅行現地研修会を、秋田県にて実施しました。なまはげ館・男鹿水族館GAO・あきた芸術村等といった秋田でしか体験できないコンテンツを視察するとともに、秋田市内の宿泊先では「教育旅行セミナー」を開催しました。

セミナーでは、秋田だからこそ学べる探求学習について、受入側事業者様等から提案いただき、「東北教育旅行」の魅力についてPRを行いました。

参加された先生方からは具体的な質問や意見をいただくなど、熱心に耳を傾けていただき、「東北教育旅行」について高い評価をいただきました。

今後も引き続き、地域と連携した誘致活動について取り組んでまいります。



【男鹿水族館GAOでの視察】



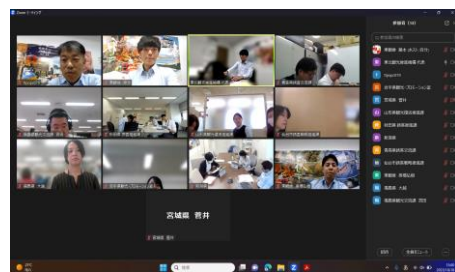
【教育旅行セミナーの様子】

第4回訪日プロモーション担当者会議を開催しました（10月18日）

東北6県・新潟県・仙台市の訪日プロモーション担当者と共に会議を開催しました。この会議は東観推と各行政の担当者間における情報共有と活発な意見交換を目的に2か月に1度実施しています。

第4回目となる今回は、2023年度訪日プロモーション事業進捗及び、9月に札幌で開催された「アドベンチャートラベルワールドサミット」での東北全体の取り組みについて共有しました。また、2024年度訪日プロモーション計画におけるタイイベント「日本東北観光フェア」や戦略的に推進する欧米豪事業の内容について説明し意見交換を行いました。

次回の会議は2024年1月を予定しており、今年度の事業を計画的に遂行しながら、来年度の事業内容が固まるようしっかりと連携を図ってまいります。



【会議の様子】

第2回行政観光戦略会議を開催しました（10月25日）

東北6県、新潟県、仙台市の観光担当課長、他の皆さまが参加し、「2023年度上期事業報告」「今後の事業計画」「各県・市における今後の観光振興方策」などについての意見交換を行いました。

インバウンドの復活により、宿泊者数が急速に回復している状況下におきまして、第5期中期計画をしっかりとクリアしながら、5年先、10年先の展望も含めて積極的に連携を図りつつ、広域の施策取組みを進めてまいります。



【会議の様子】

第15回東北観光戦略会議を開催しました（10月30日）

経済団体、企業の実務責任者、東北6県、新潟県及び仙台市の観光協会・連盟の代表の方々が参加し、「2023年度上期事業報告」「今後の事業計画」などについて意見交換を行いました。

議事ではインバウンドの復活により、宿泊者数が急速に回復している一方で、ガイドや宿泊施設など観光人材の人手不足の問題が生じていることについて意見がありました。

第7回ジャパン・ツーリズム・アワードで入賞しました

ジャパン・ツーリズム・アワードは「旅のチカラ」の再生と持続可能性の確保につながる組織・企業・団体の取組を参考となる事例として表彰し、優れた受賞取組をモデルケースとして広く世の中に展開することにより、さらなるツーリズムの発展に貢献していくことを目的としています。

東観推では、東北域内の自治体やDMOに東北観光DMPやCRMシステムを有効活用してもらいながら、戦略的マーケティングやプロモーションのPDCAサイクル効率化・深度化を図ることにより、持続可能な観光地域づくりを推進しており、今回東北広域での観光DXの取組が評価され、第7回「ジャパン・ツーリズム・アワード」国内・訪日領域部門で入賞しました。引き続き、東北域内の自治体やDMO、観光関連事業者と連携しながら更なるDXの推進に努めてまいります。



【東北ブランド戦略部一同】

Base! TOHOKUリーフレット及びムービング東北を改訂しました

【Base! TOHOKUリーフレット】

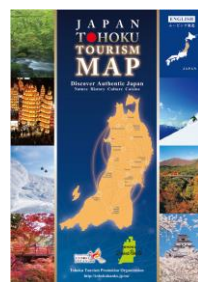
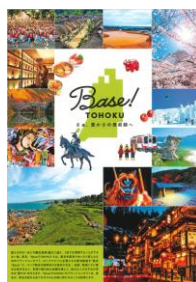
今年度Base! TOHOKU事業対象地域にいわき湯本温泉郷と津軽地域が新たに加わり、さらに阪急交通社と楽天グループがBase! TOHOKU商品の販売を開始していただいたことから内容を改訂しました。各温泉地・景勝地と、その周辺のおすすめスポットの魅力を掲載し連泊への想起を促します。

リーフレットは日本語版の他、英語版、中国語繁体字版を制作しました。

【ムービング東北】

英語・中国語（繁・簡）・韓国語・タイ語の多言語に対応した東北・新潟の広域マップのほか、各県の代表的な観光スポットを紹介しています。今年度取り組んでいる造成事業であるドライブルートを盛り込み、前回2019年度改訂から一部内容をアップデートしました。

これらを10/26からのツーリズムEXPOジャパン（大阪開催）を皮切りに各種海外旅行博や会議など多くの場面で配布し、東北の魅力を広く訴求してまいります。



【Base!TOHOKUリーフレット】 【ムービング東北英語版】

第4回フェニックス塾（新潟）を開催しました（10月20日）

今年度第4回目となる東観推の観光人材育成の取組み「フェニックス塾」を新潟市の万代島ビルで開催し、40名の塾生が参加しました。全8回の塾も折り返しを迎え、各グループの議論にも深みが増し、活発な意見交換が行われました。

【第一部】セミナー

テーマ：「ポストコロナ禍の東北観光振興に向けて」

講師：東北運輸局 局長 石谷 俊史氏

【第二部】ワークショップ

テーマ：「テーマに沿った現状把握、課題の洗い出し」



【セミナーの様子】



【ワークショップの様子】

国内外に向けてSNSで東北の観光情報を発信しています

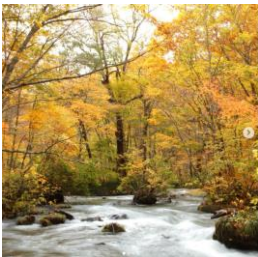
東観推ではFacebookやInstagram、Weiboを活用して日本国内および海外に向けて観光情報を発信しています。10月は各SNSにおいて、「十和田・奥入瀬エリアと月岡温泉エリアの観光・体験コンテンツ」や「佐渡」について紹介した他、紅葉スポットに関する情報を発信しました。中でも「山形のラーメン」と「奥入瀬溪流」の紅葉の投稿には多くの関心を寄せていただき、国内外からの関心の高さがうかがえました。

また、日本語のFacebook、Instagramでは「#東北PR局」のハッシュタグが付いた投稿を紹介しています。皆さまぜひ、「#東北PR局」を付けて東北の魅力を発信してください！

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram (tohokutourism) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_hk/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩楽GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【山形のラーメン】



【奥入瀬溪流】



【佐渡】

TravMedia「東北プレスセンター」から10月の発信を紹介します

東観推では、多くの有カメディアが情報収集の場として利用しているTravMediaにて、英・米・仏市場を中心に「東北プレスセンター」として情報発信を行っています。

10月は東北の麺文化をテーマに「Explore the Diversity of Japan's Noodle Culture, Including Tohoku's Regional Noodles」として発信を行いました。

記事では、東北各地に根差しているご当地麺のうち、岩手の「わんこそば」、秋田の「稲庭うどん」、山形の「ラーメン」を紹介しました。

また、麺の紹介だけでなく、おすすめの散策ルートやお土産品などを紹介することで実際に訪れた際にも役立つ情報を発信しています。

今後も東北各地に根差す文化や季節感豊かな風景の紹介など海外メディアへの情報発信を継続し、東北が魅力的な訪問地であることを世界に印象付けられるよう、広域での効果的な情報発信に取り組んでまいります。



Explore the Diversity of Japan's Noodle Culture, Including Tohoku's Regional Noodles

Tags: Japan, tohokutourism, Tohoku, tohokujapan, Iwate, iwateprefecture, wankosoba, Morioka, soba, sobanoodles, japanesefoodporn, japanesefoodculture, akita, udon, inaniwa, inaniwaudon, Yamagata, Ramen, ramenoodles, localramen

How Many Bowls of Iwate's Famous Wanko Soba Can You Eat?

Wanko soba is a dish where you eat soba noodles from a small bowl in front of you, and the server keeps adding more soba to the bowl, allowing you to eat as many bowls as you like until you're satisfied. There are various theories about its origin, one of which traces it back to Hanamaki City during the Edo period.

【東北の麺文化の記事】

フェニックスロゴマークをぜひご活用ください

国内外における訪日外国人旅行者誘致のイベント等で活用することを目的に、関係者が連携して、東北全体が共通してプロモーションに活用できる統一ロゴ・マークを作成し、幅広く活用いただいております。こちらからダウンロードいただけますので、ぜひ東北観光の認知度向上と海外への魅力発信にご活用ください。

<https://www.tohokukanko.jp/business/logo/index.html>

東北の太古の昔より生き続ける力強い生命力や震災を乗り越えて大きく飛躍するメッセージを伝える象徴として、フェニックス（不死鳥）をモチーフに使用。東北6県及び新潟県を象徴する自然等のイメージを関連づけ、フェニックスの尾を7色で表現しています。



赤 — 祭り・紅葉 白 — 雪・食（米・酒） 黄 — 黄金（歴史）・稲穂 桃 — 桜・おもてなし（ハート）
青 — 海・森・湖 橙 — 温泉・花・夕日 緑 — 新緑・田園

TOHOKU Fan Clubで効果的なプロモーションをしてみませんか！

●TOHOKU Fan Clubは情報発信やアンケート調査ができる効果的なプロモーションツールです

TOHOKU Fan Clubの会員へ地域のイベント情報を発信したり、アンケートの依頼、モニターツアー参加の呼びかけ等をしていませんか？アンケートは、ターゲットを絞って回答を依頼することもでき、結果を効果的なマーケティングデータとして活用することができます。アンケートの実施、情報発信、モニタープランの参加呼びかけ等を連動させることで、地域への誘客を今まで以上に促進させてみてはいかがでしょうか。

投稿とオファーについては、東観推の会員区分に応じて、一定回数無料でご利用いただけます。

詳しくはお問い合わせください。



	① 投稿	② アンケート ※4月1日から料金を改定しています	③ オファー
区分	ファンへの情報発信 (≒Facebook)	ファンが回答するもの	ファンが申し込むもの または、ファン限定の情報
活用例	おすすめ情報、お得な情報 (例) お祭り・イベント開催予告 新規観光施設のオープン 桜・紅葉の見ごろ情報 等	ファンに聞きたい内容 (例) コンテンツ作成前のテスト マーケティング・認知度調査 等	ファンへの参加や購入の呼びかけ (例) モニターツアー参加者募集 セミナー参加者募集 ファン限定プラン販売 等
利用料	＜会員特典＞ 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料	10問まで 15万円 + ポイント原資 30問まで 35万円 + ポイント原資	＜会員特典＞ 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料



【10/4 「「フルーツ王国山形県」で農作業「サポーター」をしてみませんか！】

【お問い合わせ先】東北ブランド戦略部 E-mail brand@tohokutourism.jp

東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください

多言語電話通訳サービス 外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者 【利用時間】24時間365日対応
※ただし、大型小売店、医療機関は対象外 【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担
【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語 【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【お申し込みはこちらをご覧ください】

https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0443/443_101_file.pdf



「旅東北NEWS」VOL.062 2023年11月9日発行
【発行】一般社団法人東北観光推進機構
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階
【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293
【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！